

2019.6.5

一般社団法人やまぐち GIS ひろば

GIS 講演会 2019 レポート (ver1.0)

一般社団法人やまぐち GIS ひろば
事務局) 弘中 淳一



会場風景

【開催要項】(一社) やまぐち GIS ひろば総会&講演会

- ① 日時：2019/ 6/ 2(日)
- ② 場所：常盤工業会館 (〒755-0039 山口県宇部市東梶返 1-10-8)
- ③ 主催：一般社団法人やまぐち GIS ひろば
- ④ 共催：NPO 法人全国 G 空間情報技術研究会

(1) 第3回定時社員総会：12:30～13:30

社員総数（正会員）：38名中、出席：20名（委任状18名）を確認。

出席者数が過半数を超え、定款第20条の開会成立要件に準拠することを確認した。

理事を代表して三浦房紀は、本理事会が適法に成立した旨を述べ、開会を宣言した。続いて議長の選任について諮ったところ、満場一致で三浦房紀を選任した。三浦房紀は議長席につき、議案の審議に入った。

- 【第1号議案】 2018年度（平成30年度）事業報告承認の件
- 【第2号議案】 2018年度（平成30年度）決算報告承認の件
- 【第3号議案】 2019年度（令和元年度）事業計画（案）承認の件
- 【第4号議案】 2019年度（令和元年度）予算（案）承認の件

いずれも異議なく満場一致で承認可決された。

以上を以って総会の議案全てを終了し、議長は閉会を宣言した。



(2) GIS 講演会 2019 : 14:00~17:30

参加者数 67 名（スタッフ、講師含む）。内訳：学 8 名、官 22 名、民 37 名



○開会挨拶



【基調講演】 わが国の防災情報は「宝の山」！ どう使う？
～最近の豪雨災害を事例として～



一般社団法人やまぐち GIS ひろば副理事長 山本晴彦
(山口大学大学院創成科学研究科 教授)
(日本防災士会山口県支部 支部長)

【講演】 「ハザードマップはこうして作られる」



一般社団法人やまぐち GIS ひろば理事長 三浦房紀
(山口大学 副学長)

【講演】「新しい災害時マッピングボランティア制度
“N2EM（ネム）” のご紹介」



【講演】「熊本地震に学ぶ地域の防災」
～熊本県西原村大切畑地区の震災復興状況を鑑みて～



【パネルディスカッション】

「災害に備えるには」「自ら、そして、周りの人を守るには」
～GIS、オープンデータの有効活用を考える～

司会：堀 敬史（一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事）

パネリスト：三浦房紀、山本晴彦、取出新吾、中込誠、
原田浩（日本防災士会山口県支部）





【講演】 やまぐち GIS ひろば活動報告（実績、予定）

(サンプル) GISで作るハザードマップ 〜メリット〜

- 1) 対象範囲が小さく、表示倍率が高い
- 2) 複数災害種別のハザードマップを重ねられる
- 3) ブロック塀、側溝など、地域固有の危険箇所が掲載されている
- 4) その他、傾斜など地形とも重ねられる

避難計画の策定が行いやすいのではないかと

6

一般社団法人やまぐち GIS ひろば事務局 弘中淳一
(宇部興産コンサルタント株式会社)

(3) 意見交換会：17:45-18:45（参加 31 名）



【所感】

今回は、県内有識者を中心とした講演会としました。これまでの売りは「県外 GIS 有識者の講演が山口で聞ける」でもあり「参加者が少ないのではないかと心配していましたが、これまでと比べても大変盛況な催しとなり、うれしく思いました。

H30 年度より山口きらめき財団の助成金事業を受託し、地域密着の防災 GIS 構築事業に取り組んでおります。おかげさまで「2/16 山口県ひとづくり財団主催“人づくり、地域づくりフォーラム”」「5/21 山口きらめき財団“H30 年度事業報告”」において聴講者 100 名規模の講演を行う機会もでき、アピールが功を奏しているようです。

パネルディスカッションでは参加者から、防災だけでなく小中学校教育に関わることでまで熱いお話を聞くことができ、意見交換会も活発に行えました。

まだまだ道半ばですが、新たな地元の方々とともに接点ができ、だんだん浸透していることを肌で感じました。この活動を続けてゆき、地域防災に本当に使える、役立つ GIS を地元の皆さんと一緒に作ってゆきたいと強く思うことができました。

最後に、日曜日にもかかわらずご来場くださりました来場者のみなさま、遠路はるばるお越し下さった取出さま、講演くださった先生方、そしてスタッフ一同に厚くお礼を申し上げます。

以 上